



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2020年 10月 3日(土) 9時00分 ～ 15時00分		
場所	金ヶ崎公園	天候	曇り時々晴れ
参加者	エコウイング会員／9名(うち午前のみ1名、午後のみ2名) 事務局／2名		計／11名

● 午前

10月になり、長く続いた残暑もようやく収まって、秋らしい季節になりました。その中を朝9時に9名のメンバーが公園事務所の会議室に集まりました。マスクの着用、手指の消毒、体温確認など新型コロナウイルス感染防止の対策をして、活動前のミーティングをしたあと、公園内のコースに出て昆虫を中心とした自然観察をしました。

今日も、観察できた昆虫の種類は少なく、特にトンボのなかまの姿は、あまり見かけませんでした。

● 午後

午後は、少しメンバーの入れ替わりがあり、10名で里山の整備作業に取り組みました。雨天や新型コロナウイルスの影響で活動が中止になったり、猛暑のため午前中の自然観察のみの活動をしたたりすることが続いたため、昨年7月以来の久しぶりの里山整備作業です。公園入口の竹林横から作業を始め、竹林の範囲外に生えた竹や常緑樹の除伐、下草刈り、遊歩道の階段の補修などに取組ました。

- 次回の活動は、11月7日(土)の予定です。なお、次回から集合時間は朝10時になります。秋本番の気候になり、快適な活動を楽しめると思います。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

コロナ対策をして朝のミーティング



自然観察(その1)



自然観察(その2)



自然観察(その3)



竹林範囲外の竹の除伐作業



除伐した竹を遊歩道のガイドに利用



常緑樹の除伐作業



下草刈り作業



遊歩道の階段補修作業(その1)



遊歩道の階段補修作業(その2)



今日の自然観察日記(その1)

最近、どこに行っても観察できる昆虫の数が少なくなっていると感じます。今日の金ヶ崎公園でも、トンボやチョウが飛びまわる姿が以前ほど多くありませんでした。それでも、シジミチョウのなかまが色々姿を見せ、特に今日は「クロマダラソテツシジミ」を初めて観察しました。熱帯系のチョウのなかまで、南西諸島から生息域を北に広げてきており、ソテツが深刻な食害を受けるそうです。

その他に、カマキリやカメムシ、ハチ、バッタなどのなかまやカタツムリを食べるマイマイカブリなどを観察しました。今日観察できた昆虫を以下に紹介します。

クロマダラソテツシジミ(翅の表)



クロマダラソテツシジミ(翅の裏)



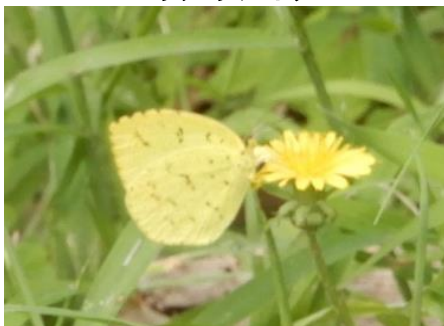
ヤマトシジミ



翅の傷んだウラギンシジミ



キタキチョウ



ホシホウジャク



ホタルガ



オオカマキリ



ハラビロカマキリ



オオホシカメムシ



アカサシガメ



ホソヘリカメムシ



今日の自然観察日記(その2)

クサギカメムシ



キマダラカメムシ



アオモンツノカメムシ



オオスズメバチ



色違いのオンブバッタのペア



緑色同士のオンブバッタのペア



エンマコオロギ



クビキリギス



マイマイカブリ



野鳥は、秋の渡りを前にした夏鳥が色々と姿を見せているようで、望遠レンズ付きのカメラを持った愛好家が多数見られましたが、活動で写真に撮れたのは、メタセコイヤの梢で高鳴きをするモズだけでした。

そのほかの生き物では、爬虫類のニホンカナヘビ、東屋の天井に潜むニホンヤモリ、ヘビのなかまのヒバカリ、両生類のツチガエルが姿を見せました。また、カタツムリのなかまも見つけました。

メタセコイヤの梢のモズ



ニホンカナヘビ



東屋の天井に潜むニホンヤモリ



今日の自然観察日記(その3)

ヒバカリ



ツチガエル



カタツムリのなかま



植物では、まだヒガンバナが咲いていました。今年は残暑が長引いたためか、開花の時期が平年より半月ほど遅いようです。そのほかにハギやナンバンギセル、ミゾソバの花が咲き、アケビの実を見つけました。また公園内の小川の岸に、何か所かジュズダマが実を付けていました。昔は水田の脇などに普通に生えていましたが、最近はあまり見かけなくなっているようで、大切にしたい植物です。

ヒガンバナ



ハギの花



ナンバンギセルの花



ミゾソバの花



アケビの実



ジュズダマの実

